

コンクリート面及び押出成形セメント板面

18章7節: 耐候性塗料塗り(DP) Vトップ

新設仕様No.
DNT-新設・7-3-03

使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JASS 18 M-201 反応形成樹脂ワニス	マイティーエポシーラークリヤー	F☆☆☆☆	エポニックスシンナーA
2 (社内規格) ^{※1} 建築用耐候性上塗り塗料 ホリウレタン樹脂(3級)	Vトップ	F☆☆☆☆	Vトップシンナー

※1: 平成25年版の公共建築工事標準仕様書に記載されている規格番号ですが、社内試験でJIS K 5658の性能試験項目には合格しています。

塗装仕様

表18.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ【A種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 乾燥		—		素地を十分に乾燥させる。
2 汚れ、付着物除去		—		素地を傷つけないように除去する。
3 下地調整塗り	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-2	全面に塗り付けて平滑にする。
4 吸込止め	JASS 18 M-201	反応形成樹脂ワニス	2液形エポキシ樹脂ワニス	全面に塗り付ける。
5 パテしごき	JASS 18 M-202(2)	反応形成樹脂パテ	2液形エポキシ樹脂パテ	全面にしごき取り平滑にする。
6 研磨紙ざり		研磨紙P120~220		乾燥後、全面を平らに研磨する。

(注) 1. 押出成形セメント板面の場合は、工程3を省略する。
2. 2液形エポキシ樹脂ワニス、2液形エポキシ樹脂パテは、上塗り塗料製造所の指定する製品とする。
3. JASS18 M-201及びJASS 18 M-202(2)は、日本建築学会材料規格である。

表18.7.3 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り【C種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	マイティーエポシーラー	クリヤー	主剤50: 硬化剤50	30~50	刷毛 ローラー	0.08	16時間以上
					スプレー		
2 中塗り	Vトップ	各色	主剤80: 硬化剤20	5~10	刷毛 ローラー	0.14	12時間以上
				20~50	スプレー		
3 上塗り ^{※1}	Vトップ	各色	主剤80: 硬化剤20	5~10	刷毛 ローラー	0.10	—
				20~50	スプレー		

(注) 1. 素地ごしらえの種類は、塗料その他の欄による。
2. JASS18 M-201、M403は、日本建築学会材料規格である。

18.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ
コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえは表18.2.6による。
ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

18.7.4 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り
コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗りは、表18.7.3により、種別は特記による。

注意事項

* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版に掲載されている数値です。
そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。